

主な製品の売上高の状況と見込み

製品名	当第2四半期 売上高(実績) (億円)	対前年同期 増減率	2014年度 売上高(実績) (億円)	2015年度 売上高(見込み) (億円)	対前期 増減率
グラクティブ錠	160	+0.6%	308	320	+4.0%
オパルモン錠	119	△6.3%	248	225	△9.4%
リカルボン錠	57	+17.1%	103	110	+7.0%
イメンド/プロイメンド	47	+12.9%	86	95	+10.5%
オノンカプセル	41	△9.6%	102	90	△12.1%
リバスタッチパッチ	39	+20.5%	68	85	+25.4%
フォーシーガ錠	16	+29.6%	15	45	+192.0%
オレンシア皮下注	37	+148.2%	41	80	+93.3%
オノンドライシロップ	25	+0.1%	58	55	△5.0%
フオイバン錠	28	△12.7%	61	50	△17.6%
オノアクト点滴静注用	28	+27.8%	47	50	+7.3%
ステーブラ錠	26	+4.6%	53	45	△14.5%
キネダック錠	22	△17.5%	48	45	△5.9%
オブジーボ点滴静注	30	+942.0%	25	55	+117.4%
注射用エラスポール	9	△29.2%	27	20	△25.3%

アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチ®パッチ」用法及び用量追加の承認を取得

本年8月に、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチ®パッチ」について、用法及び用量の追加承認を取得しました。同剤には4種類の用量(4.5mg, 9mg, 13.5mg, 18mg)があり、これまでは原則として4.5mgから開始し、4週間ごとに増量して12週間後に18mg(維持量)まで増量する3段階の漸増法のみでした。このたびの用法及び用量の追加承認取得により、患者さんの状態に応じて、1度の増量で維持量に到達できるようになりました。アルツハイマー型認知症は進行性の神経変性疾患であることから、より早くから維持量の投与を開始することが重要です。薬剤の投与による影響を慎重に確認することが必要な一方で、漸増期間をできるだけ短くすることが望まれていました。この新たな治療選択肢を提供することで、患者さんおよびご家族に貢献できるものと考えています。

